

消防千葉

2014 No.530 平成26年9月号

平成 26 年 9 月 1 日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL043(263)9885
郵便番号 260-0801 (定価 50 円)
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



上総十二社祭り「上総はだか祭り」一宮町（長生支部）

巻 頭 言

「災害に強いまちづくりを目指して」

銚子市消防本部 宮内 忠



銚子市は千葉県の最東端に位置しており、昭和8年2月11日に県内では千葉市に次いで2番目の市として誕生しました。

三方を水に囲まれ、利根川河口から君ヶ浜、犬吠埼、屏風ヶ浦に至る海岸線は、砂浜あり、岬あり、断崖絶壁ありと、変化に富んだ雄大な景観美を織りなしています。また、銚子は「地層の博物館」とも称され、1億5千万年前からの地層を観察することができ、平成24年9月には「銚子ジオパーク」として日本ジオパーク委員会より認定を受けました。ジオパークにふれて学ぶことにより、大地の成り立ちを知り、改めて東日本大震災といった災害に対する防災教育へと役立てる側面もあります。

このほかには、3年連続で年間水揚げ量日本一を誇る銚子漁港、歴史と伝統を実感できる醤油工場、さらには、これらの産業基盤から産出される豊富で新鮮な食材や特産品を備えるなど、多くの地域資源に恵まれた魅力あふれるまちです。

近年は、二酸化炭素やフロンなどの温室効果ガスの排出量の増加が原因と考えられる地球温暖化が加速しており、これによる異常気象として気温の上昇や局地的なゲリラ豪雨の発生など、これまでの勢力を上回る自然災害が猛威を振るっております。昨年8月30日から、これまでの「警報」発表基準をはるかに超えて、数十年に一度といった災害の発生危険を伝えるため「特別警報」が導入され、重大な防災情報として運用されています。特別警報は大雨、暴風などの気象関係や、津波、地震などについて対象として、東日本大震災や伊勢湾台風などの被害が想定されます。

このような災害時には、消防職員だけでは対応が困難であるため、地元消防団の活動といった地域防災力の重要性が顕在化しているところであります。

昨年12月には「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、重要な項目の一つであります地方公務員の消防団への加入促進について、本市といたしましては市職員へ文書による依頼を发出して、団員の確保を図りました。

また、本年6月に開催されました千葉県消防協会海匝支部消防操法大会において、女性消防団員による軽可搬ポンプ操法の演技を披露しました。出場団員の中には、地元大学生も含まれ、さらなる女性団員拡充のPRを図るとともに、災害現場において女性ならではの重要な業務を果たして頂けるよう、期待しているところであります。

こうしたなか、本市におきましては、市民の負託に応えるため、消防本部・消防団が一丸となって火災や地震、風水害といった各種災害への対応力の強化、救急業務の高度化の推進などに取り組んでまいります。

今後とも災害に強いまちづくりを目指して、努力していきたいと考えております。

平成26年度「防火・防災ポスター展」表彰式

千葉県・(公財)千葉県消防協会・千葉県少年婦人防火委員会



防火・防災についての関心を高め、防火・防災意識の向上を図ることにより災害の未然防止と被害の軽減に役立てることを目的として、千葉県、(公財)千葉県消防協会及び千葉県少年婦人防火委員会の主催により県下の小中学校の児童・生徒から募集した防火・防災に関するポスター展の表彰式が8月19日(火)千葉県庁本庁舎5階大会議室において、受賞者、受賞者の保護者等多数の御臨席のもと開催されました。

本年度は、県内40の小・中学校から1,027点の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、最優秀賞には、小学生低学年の部で我孫子市立根戸小学校3年 鈴木菜桜さん、小学生高学年の部でいすみ市立千町小学校4年 関響貴さん、中学生の部で船橋市立二宮中学校2年 青木観雪さんが受賞され、優秀賞には長柄町立長柄小学校1年 小島裕太さんの作品外5点、千葉県消防協会長賞には茂原市立茂原小学校2年 弓削美沙希さんの作品外5点、千葉県少年婦人防火委員会長賞には長南町立豊栄小学校2年 片爪寛人さんの作品外5点選ばれ、高橋千葉県副知事及び石橋千葉県消防協会長からそれぞれ表彰を受けました。



各賞の受賞者は、次の通りです。

[知事表彰]

最優秀賞

すずき なお 鈴木 菜桜	我孫子市立根戸小学校	3年
せき ひびき 関 響貴	いすみ市立千町小学校	4年
あおき みゆき 青木 観雪	成田市立公津の杜中学校	2年

優秀賞

こじま ゆうた 小島 裕太	長柄町立長柄小学校	1年
たまき かのん 玉木 花音	茂原市立茂原小学校	2年
すずた えり 須々田 恵理	大網白里市立白里小学校	4年
かたおが あんり 片岡 杏花里	横芝光町立横芝小学校	6年
もりた しおん 森田 詩音	大網白里市立白里中学校	2年
こじま ゆうと 小島 佑仁	流山市立東部中学校	2年

[消防協会長表彰等]

(公財) 千葉県消防協会長賞

ゆげ みさき 弓削 美沙希	茂原市立茂原小学校	2年
しまざき かれん 島崎 香蓮	茂原市立茂原小学校	2年
おおの りおの 大野 李緒乃	いすみ市立千町小学校	4年
なかむら ななみ 中村 奈那美	大網白里市立大網東 小学校	5年
きたじま れい 北島 玲	船橋市立二宮中学校	2年
まつだ きなり 松田 きなり	柏市立高柳中学校	3年

千葉県少年婦人防火委員会長賞

かたづめ ひろと 片爪 寛人	長南町立豊栄小学校	2年
のなか みき 野中 美希	我孫子市立根戸小学校	3年
いけだ かいと 池田 快音	横芝光町立横芝小学校	6年
ゆた りゅういちろう 結田 龍一郎	我孫子市立我孫子第四小学校	6年
むらかみ かおり 村上 佳桜里	船橋市立二宮中学校	3年
わたなべ まいか 渡部 舞海	柏市立土中学校	3年

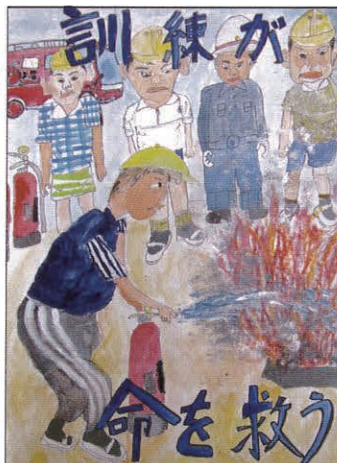
受 賞 作 品

[知事表彰]

★最優秀賞



我孫子市立根戸小学校 3年
鈴木 菜桜



いすみ市立千町小学校 4年
関 響貴



船橋市立二宮中学校 2年
青木 観雪

★優秀賞



長柄町立長柄小学校 1年
小島 裕太



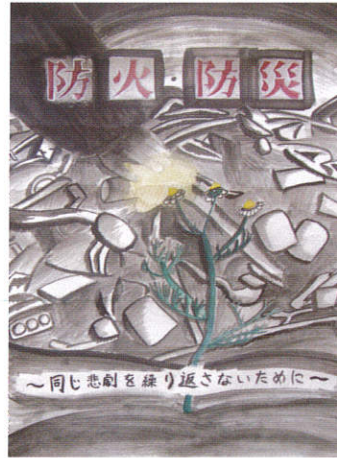
茂原市立茂原小学校 2年
玉木 花音



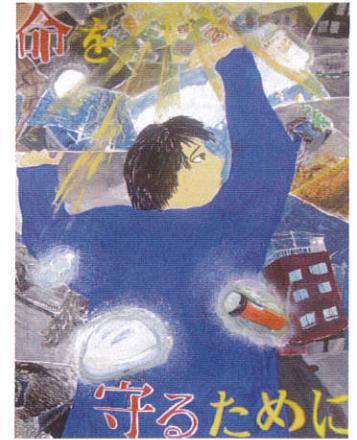
横芝光町立横芝小学校 6年
片岡 杏花里



大網白里市立白里小学校 4年
須々田 恵理



大網白里市立白里中学校 2年
森田 詩音



流山市立東部中学校 2年
小島 佑仁

◇ (公財) 千葉県消防協会長賞



茂原市立茂原小学校 2年
弓削 美沙希



茂原市立茂原小学校 2年
島崎 香蓮



いすみ市立千町小学校 4年
大野 李緒乃



大網白里市立大網東小学校 5年
中村 奈那美



船橋市立二宮中学校 2年
北島 令



柏市立高柳中学校 3年
松田 きなり

◇千葉県少年婦人防火委員長賞◇



長南町立豊栄小学校 2年
片爪 寛人



我孫子市立根戸小学校 3年
野中 美希



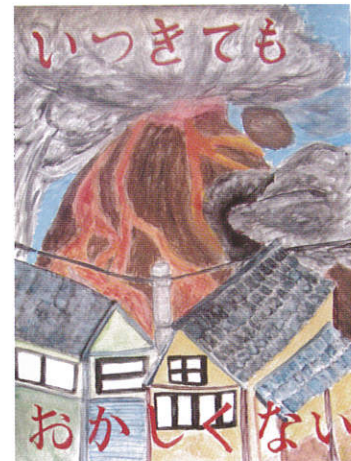
横芝光町立横芝小学校 6年
池田 快音



我孫子市立我孫子第四小学校 6年
結田 龍一郎



船橋市立二宮中学校 3年
村上 佳桜里



柏市立土中学校 3年
渡部 舞海

第43回 消防救助技術関東地区指導会

～ 千葉県消防長会 ～

7月31日(木)千葉県消防学校において、一般財団法人全国消防協会関東地区支部主催による、第43回消防救助技術関東地区指導会が開催されました。

本大会には、1都9県(187消防本部)から選抜された683名の隊員が、陸上の部3種目と水上の部7種目及び技術訓練に出場し、日頃錬磨した救助技術を競いました。

今回は地元開催として、千葉県から11消防本部110名の隊員が代表出場し、ご来場くださった皆様のご声援に後押しされ、多くの隊員が8月27日(水)に開催される第43回全国消防救助技術大会への出場権を獲得しました。

《開会式》



《隊員宣誓》 千葉市：内山翔太



各訓練の結果、以下の隊員が関東地区代表として全国大会へ出場します。

《陸上の部》



☆ 引揚救助

千葉市 山野祐三・石井紀光・竹内達也・伊藤祐樹・眞造大将
 千葉市 永妻和也・中西 剛・小澤智裕・萩原翔太・大野功泰
 安房郡市 入江 彰・鈴木正人・仲山大輔・田中宏侍・大道弘貴
 成田市 平野健司・三本 繁・久保木慎也・本宮一毅・谷口昂児
 成田市 久保木章智・山口惇一・伊藤信行・田中裕貴・櫻井真吾

☆ ロープブリッジ救出

千葉市 新井吉昭・神保智博・加藤謙治・鈴木大義
 千葉市 西野啓史・新保 徹・船越貴維・宮下 諒
 市川市 秋葉 剛・淵上優樹・山崎寛実・田中亮介
 柏市 伊藤新太郎・佐藤翔太・三ツ井嘉孝・木村政嗣



☆ 障害突破

千葉市 小堀真利・松岡慎悟・内山翔太・高橋雄斗・野村勇介
 松戸市 渡来賢二・安藤直毅・佐藤崇夫・藤山光・鳥澤卓也
 成田市 鎌形利春・鈴木 翔・宮島 厚・村松博文・植田浩一郎
 流山市 安部雄一・菅 裕樹・知久隼人・熊谷龍之介・山田陽一
 君津市 田浦潤也・渡邊祥太郎・小泉圭介・石井智之・戸田拓也



☆ 技術訓練

千葉市 藤平慎也・小井土雄一・志賀寿幸・齋藤祐一
 鏑本賢男・蛭田俊哉
 花澤麻衣子（ナレーション）

《水上の部》

☆ 複合検索

千葉市 上野俊輝
 市川市 矢内健斗

☆ 基本泳法

千葉市 日沖篤志
 松戸市 大川一成



☆ 溺者搬送

千葉市 新濱秀樹・前谷 泉

☆ 人命救助

千葉市 高野将舟・前谷 泉・大畑涼輔

☆ 水中結索

千葉市 遠藤真哉・高橋敏明・日沖篤志

☆ 溺者救助

千葉市 新濱秀樹・三橋 亮・笹浪 悠

☆ 水中検索救助

千葉市 地引 悟・並木 悠・高橋幸大・大畑涼輔



第24回 全国消防操法大会出場に向けて

〈八街市消防団〉

平成 26 年 7 月 26 日(土)第 50 回千葉県消防操法大会が、千葉県消防学校にて猛暑のなか開催されました。

小型ポンプの部において八街市消防団が見事最優秀賞を獲得し、来る 11 月 8 日(土)東京臨海広域防災公園(有明)で開催される第 24 回全国消防操法大会へ千葉県を代表して出場することとなりました。

八街市消防団は、団員 450 名、25 個の分団で構成され「自分たちの地域は、自分たちで守る」という郷土愛護の精神をもとに地域防災の要として、市民の生命・身体・財産を守る活動に尽力しております。

今回、八街市消防団が全国大会へ出場するのは 22 年ぶりの快挙となります。

出場する第 16 分団は、これまでの長きにわたる厳しく苦しい訓練に耐え市大会、支部大会、県大会を勝ち抜いてまいりました。

全国大会では、これまで訓練で培った機敏な動作、操法に対する自信、そして仲間との絆を十分生かし、千葉県代表の名に恥じぬよう堂々たる操法演技を披露し全国制覇を目指します。



県民の日海匝地域行事 「さんさんフェスタ」でPR活動を実施

千葉県消防協会海匝支部



当支部では、平成26年7月5日(土)に旭市内で行われた県民の日海匝地域行事「さんさんフェスタ」において、旭市消防本部及び消防団の協力のもと、消防関係のPR活動を行いました。

この行事は、地域の少子化問題に着目し、子ども達に地域の産業や仕事を知ってもらうことで、長期的観点での「定住促進」や「担い手確保」を図ろうと開催されたもので、消防のほか、警察や自衛隊、海上保安庁などの様々な機関が一堂に会し、展示や体験を通じてそれぞれの仕事の紹介を行いました。

当日は、はしご車や地震体験車の試乗、ロープわたり体験や子ども消防服の試着などのほか、消防団のPR活動も行い、多数の子ども連れでにぎわいました。



わが町の消防団 ① 柏市消防団



柏市は利根川を挟み北は茨城県との境に位置し、東は我孫子市との境に手賀沼が広がる東西約18km、南北約15km、面積は約114.9km、世帯数170,140世帯、人口407,762人(平成26年8月1日現在)となっております。鉄道はJR常磐線快速、東京メトロ千代田線乗り入れの各駅停車、東武アーバンパークラインさらにはつくばエクスプレスが通っております。道路は国道6号線、埼玉、千葉へつながる国道16号線が市内中心部で交差し、常磐自動車道柏ICを有し交通の要衝となっております。

昭和30年代中頃より東京のベッドタウンとして開け、柏駅をはさみ高島屋、そごうのデパートが立ち並び商業の街としても発展を続けてきております。つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅周辺に東京大学柏キャンパス、千葉大学、国立がんセンター東病院等があり産学官一体での街づくりも進んでおります。

また、平成23年には、Jリーグの柏レイソルがJ2から復帰後すぐに優勝するという快挙を達成してしており、柏と言えば「柏レイソル」という名前が、全国的に有名となっております。

柏市消防団は昭和29年に発足、平成17年に海上自衛隊下総航空基地が所在する沼南町と合併、団本部、5方面隊、43分団 団員数631名で構成され、ポンプ自動車19台、小型動力付積載車23台を配備し、防火防災活動に励んでおります。また、今年度から新たに女性消防団員14名が入団し、より市民に親しまれる消防団を目指すとともに、高齢者や婦人に対し火災予防や救命講習等々、女性の視点で活動して頂けるものと期待しています。

柏市消防団員は、地域の防災リーダーとして安全安心を担う役割を全うすべく日々訓練を重ねております。

4月には、春季訓練として規律、統制を重点とした基本訓練に始まり、操法講習会、5月に近隣の我孫子市と



共催の水防演習、6月には柏市消防操法大会を開催し、優勝した分団は柏市の代表として東葛飾支部消防操法大会に出場。今年はポンプ自動車の部で第1方面第3分団(十余二)が東葛飾支部の代表として千葉県消防操法大会に出場し、4位と大健闘しました。8月には柏祭りや手賀沼花火大会の警備に出動し、10月は家族を招いての消防団運動会、11月に秋季訓練として各個訓練、小隊訓練、分列行進等の訓練を午前中に行い、午後からは幹部講習会として、平成25年度は日本消防協会より桑江良枝講師を招き、「平成25年度消防団員健康セミナー」を開催、年末年始には住民の火災予防思想の高揚、啓発を目的に消防車両で赤色灯の点灯警鐘をしながら巡回広報、水利に支障をきたす駐車車両へは注意喚起を促しております。

1月には、消防出初式が盛大に開催され、3月には春季火災予防訓練として、中継放水訓練、資機材使用訓練等を全団員対象に行っております。さらに、各方面隊ごとに放水訓練、救護訓練を実施。また、地域行事や祭事に率先して交通整理や警備に出動し、地域住民からの信頼を得ております。

地域の救急救命活動の充実と救命率向上を目指し、平成22年4月に団員による「救命サポート隊」を結成。普通救命講習会の普及員として団員が定期講習会や地元の町会で講習活動を行い、また、「救急の日フェスティバル」では、毎年、市民に大好評の救命の大切さを伝える「救命サポート隊による寸劇」を行っています。

このように年間を通して柏市消防団は、小田山博史団長以下、団員一丸となって柏市民が安心・安全に暮らせる街づくりのために、職員と協力し日々活動しています。



わが町の消防団 ② 酒々井町消防団



酒々井町は、千葉県の北部、北総台地に位置し、都心から50キロメートルの圏内にあつて、北西部には印旛沼、東南部には北総台地を配し、緑豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれています。

当町は、明治22年に町村制が施行され、近隣16町村が合併して酒々井町が誕生以来、農業を主産業としてきましたが、昭和40年代後半から50年代にかけて住宅開発に伴う人口増加により、住宅都市へと大きくその姿を変え、それまで6千人台であった町の人口も2万人を超えるまでになりました。平成25年4月には念

願であった酒々井インターチェンジが開通するとともに酒々井プレミアムアウトレットが開業し、年間来場者の目標350万人を大きく上回り、本年3月末までに約600万人をこえる来場があり、今後もさらなる活性化が期待されます。また、明治22年の町村制施行以来一度も合併をせずに、本年は町制施行125周年を迎え、4月3日には記念セレモニーを開催し、125周年の節目をお祝いしました。

当町の消防団は、警防団が廃止され昭和22年12月22日に「酒々井町消防団」として組織され、初代団長には櫻井房次郎氏が就任しました。現在の消防団は、13分団編成で、齊藤一郎団長(第11代)以下団員165名により、消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車11台を配備しています。

酒々井町消防団の年間の主な活動をご紹介しますと、4月に消防団入団式を開催し、新入団員及び幹部団員の辞令交付及び規律訓練を行います。



6月(隔年)に消防操法大会を開催し、各分団の操作員が消防署の教官の指導のもと、2か月に亘る厳しい練習の成果を披露し、優勝分団は千葉県消防協会印旛支部消防操法大会に代表として出場します。10月には町主催の防災訓練への参加や、消防自動車及び装備品、機庫等の点検のために、13分団の消防機庫査察を行っています。11月の火災予防運動期間中に、林野火災等を想定した訓練として、消防無線を使った伝達訓練及び各分団の消防ポンプ等の中継した放水訓練を行っています。12月には、冬期訓練として部隊訓練及び消防出初式の予行練習を行います。年末の火災多発時期には町内の夜警を実施し、火災予防の啓発に努めています。

1月には、酒々井町消防出初式を町民に公開のもと、分列行進や各分団車両の部隊行進の披露や、また、永年の消防業務に精励し、功績のあった消防団員の表彰を行い、防火思想の普及及び啓発並びに消防に対する理解を図るとともに、消防団員の士気高揚及び団結強化を目指しています。

その他の消防団の活動としては、平常時から各分団管轄内の水利の点検、火災予防運動期間等における警戒及び広報活動、地域の祭りなどの警備も行っており、消防以外の地域行事にも積極的に参加しており、地域での消防団員への期待と役割は重要なものとなっています。



また、酒々井町消防団では、隣接の佐倉市、八街市の消防団との消防関係に係る情報交換及び交流を深め、災害時の応援の備えを行っています。

最後に、酒々井町消防団は、消防署と一体となって町民の身体、生命、財産を守り、安心して暮らしていける、災害に強い「安全安心なまち」を目指して活動を行っています。

東 西 南 北

稲毛浅間神社祭礼での特別警備 千葉県稲毛消防署

千葉県稲毛消防署では、平成26年7月14日(月)、15日(火)の二日間、稲毛浅間神社の祭礼に伴い、地元消防団員の協力も得て消防特別警備を実施しました。

稲毛浅間神社は、西暦808年、富士山本宮浅間大社から勧請したのに始まるとされており、鎌倉時代は千葉氏の尊崇が厚く、毎年同日に大祭が行われています。

今年は約450の露店が出店され、大勢の人で賑わうことが予想されたことと併せ、千葉県火災予防条例の一部改正(本年8月1日施行予定)に伴い、露店等は対象火気器具毎に消火器の設置が義務付けられることになるため、条例施行前ではありますが、祭り実行委員会を通じて、消火器の設置等について事前申し入れを行い、祭礼当日に巡回確認を実施したところ、ガソリン携行缶の設置場所(直射日光を避けて日陰に置く等)及び取扱い(圧力調整ねじを緩めてからキャップを開ける等)については周知徹底されている事が確認できましたが、消火器については、業務用消火器ではなくエアゾール式簡易消火器具を設置している露店が多く見受けられたため、今後の課題としました。

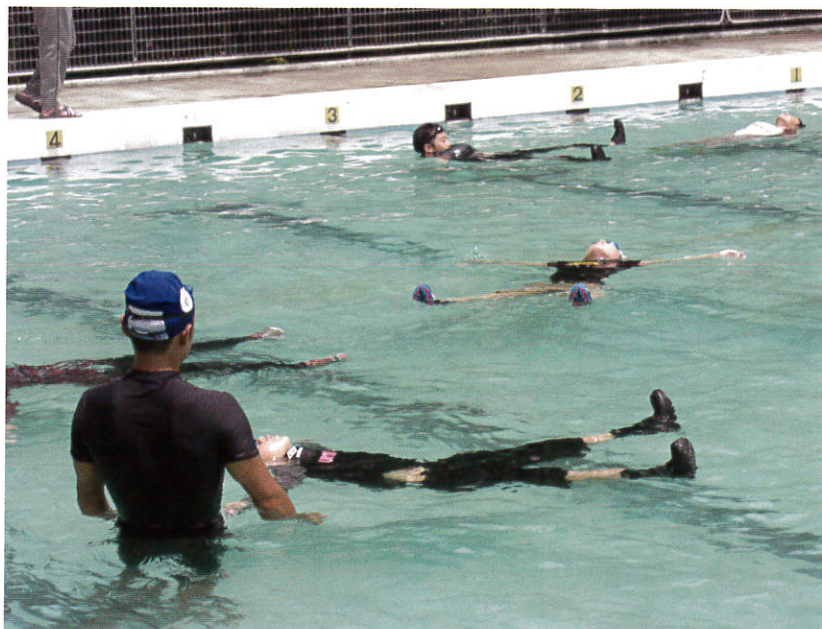
結果的に特筆する災害事案もなく、市民も安心して祭りを楽しんでいました。今後も不測の事態が生じないよう万全の態勢で備えていきます。



「着衣泳訓練」 流山市消防本部

流山市消防本部では、水難事故防止のため「着衣泳訓練」を平成26年7月16日、流山市立西初石小学校プールにて、西初石小学校の6学年約123名の参加のもと訓練を実施しました。

着衣状態で水に落ちた時の対処法や、ペットボトル等身近なものを使っての浮き方を学び、生徒一人ひとりが水難事故の怖さを感じながら訓練を体験しました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成 26年度 9月

- 9月 6日 第 35 回九都県市合同防災訓練（南房総市）
- 10日 日本消防協会正副会長会合（東京）
- 11日 第 33 回全国消防殉職者慰霊祭（ニッショウホール）
- 18日 第158 期初任科卒業式（消防学校）
- 25日 第 20 回全国女性消防団員活性化ちば大会
第 9 回運営委員会
- 29日 第159 期初任科入学式（消防学校）



平成26年 秋の全国交通安全運動 9月21日(日)から9月30日(火)

スローガン

～身につけた？ ルールとマナーと 反射材～

- 重点目標
- 1 子どもと高齢者の交通事故防止
 - 2 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
 - 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - 4 飲酒運転の根絶

平成 26 年度 全国統一防火標語

「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」

<表紙の説明>

上総十二社祭り「上総はだか祭り」一宮町（長生支部）

大同二年（西暦 807）創始と伝えられるこのお祭りは、上総一ノ宮玉前神社のご祭神玉依姫命とその一族の神々が由縁の釣ヶ崎（つりがさき）海岸で年に一度再会されるという壮大な儀礼です。房総半島に多い浜降り神事の中でも最古の歴史と伝統を誇り、古儀を今に伝える貴重なおまつりとして千葉県の無形民俗文化財に指定されています。9月13日の神幸祭は、「上総（かずさ）裸まつり」とも称され、九基のお神輿を千名余りの裸の男たちがそれぞれ担いで九十九里の大海原を背に渚を踏みつつ疾走し、ご祭神ゆかりの釣ヶ浜祭典場に集う様は圧巻です。

